

LGBT
Lesbian Gay Bisexual Transgender

多様な性を考える映画祭

2017.7.8(土)
13:00~

12:30 開場 17:00 終了予定

バル&カフェ チェアーズガーデン
(100席)

青森市古川 1-14-5 フクシスポーツビル地下 1F
(JR 青森駅より徒歩 8 分)
TEL: 017-763-5325

前売券販売所

青森松竹アムゼ
青森市緑 3-9-2 (TEL: 017-731-1177)

成田本店しんまち店 1F プレイガイド
青森市新町 1-13-4 (TEL: 017-723-2431)

バル&カフェ チェアーズガーデン
青森市古川 1-14-5 フクシスポーツビル地下 1F
(TEL: 017-763-5325)

遠方の方は、下記の実行委員会にお問い合わせください。

1日通し券 **¥2,200**
上映される3つのプログラム全てをご覧いただけます。

1プログラム券 **¥1,100**
上映される3つのプログラムの中からひとつお選びいただくチケットです。

1日通し券 **¥2,700**
1プログラム券 **¥1,300**
※学割チケット(通し券のみ) **¥1,800**

チケットは全席自由席です。当日券は映画祭会場受付にて残席に応じて販売いたします。

※学割チケットは開催当日に販売いたします。受付にて学生証をご提示ください。チケットのご予約は下記お問い合わせ先またはウェブサイトからお申し込みください。(学割チケットの前売りはいたしませんので、ご注意ください。)

映画祭終了後 懇親会開催

映画の感想などを語り合いませんか！

■会場/バル&カフェ チェアーズガーデン
■参加費/¥1,500

*軽食・飲物(ツードリンク)込
お申し込みはウェブサイトまたはお電話で

お問い合わせ

青森国際ナショナル LGBT
フィルムフェスティバル実行委員会

☎ 090-6459-5136

※留守番電話の場合があります。メッセージを残していただければ、こちらからご連絡いたします。

✉ info@aomori-lgbtff.org

※会場内、会場付近での写真撮影は固くお断りいたします。※上映中の入場はできませんので、予め開演時間等をご確認ください。(上映が始まりますと会場内が暗くなり、足元が危険です)※上映中の飲食はできませんので、ご了承ください。ただし、休憩時間はシアター後方カフェスペースでの飲食は可能です。※再入場の際はチケットの半券を係員へご提示ください。

主催/青森国際ナショナル LGBT
フィルムフェスティバル実行委員会
協力/香川レインボー映画祭
愛媛 LGBT 映画祭
バル&カフェ チェアーズガーデン
デザイン/エイチビースタイル

The Twelfth Aomori International LGBT Film Festival

第12回青森国際ナショナル LGBT フィルムフェスティバル

ハイヒール革命!

東北初上映



©2016「ハイヒール革命!」製作委員会

男として生まれた真境名(まじきな)ナツキ(本名:真境名薫/女優・タレント)が、思春期に「性の壁」をも越えて女に生まれ変わり、いかにしてコンプレックスを豊かな個性に変え「本当の自分」を勝ち取ったのか。リアルなインタビューパートと、取材に基づいた少年時代のドラマパートを交互に見せながら現在と過去を描く。誰もが笑って泣ける型破りな新しいタイプのドキュメンタリー&ドラマ。

■監督:古波津陽 Yo Kohatsu

■製作国:日本 ■製作年:2016年 ■上映時間:73分 ■言語:日本語(英語字幕あり English Subtitles)

日本短編作品集



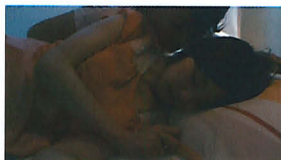
あかぎれ

東北初上映

確かめるように男の人と体を重ねる高校生のサツキ。サツキには今、付き合っている年上の彼女がいる。しかしそれを友達に言うことも出来ず、母親には「気持ち悪い」と咎められる。何が正しくて何が間違っているのか。大人たちの隙間の中で揺れ動く女の子の話。

■監督:犬童一利 Kazutoshi Inudo

■製作国:日本 ■製作年:2015年 ■上映時間:19分 ■言語:日本語(英語字幕あり English Subtitles)



私は渦の底から

東北初上映

自身がレズビアンであることに悲観的な希子は、親友へ気持ちを伝えられず思い悩む日々を過ごす。デリヘルに心酔する隣人を利用するもうまくいかず、恋人たちが集う花火大会では果敢と立ち尽くし、運命を呪う。

そしてついに想いを断ち切って地元へ帰る決意をし、別れを告げるべく親友の元へ。しかしそこでこの出来事がきっかけで希子は一度あきらめた彼女への想いを再燃させていく。

■監督:野本梢 Kozue Nomoto

■製作国:日本 ■製作年:2015年 ■上映時間:27分 ■言語:日本語(英語字幕あり English Subtitles)

どうしても触れたくない

東北初上映



©2014 ヨネダコウ・大洋図書/「どうしても触れたくない」製作委員会

新しい職場の出勤初日に嶋は、エレベーターで酒臭い男と一緒にいる。それが新しい上司・外川との出会いだった。外川のデリカシーのない性格は、嶋の苦手なタイプで初めは敬遠していたが、時折みせる気遣いと優しさに少しずつ惹かれていく。

新しい職場、新しい上司、新たな想い。互いの想いが触れた瞬間、臆病だけど欲張りな恋が始まる。人気漫画家ヨネダコウ原作のボーイズラブコミックを実写映画化!

■監督:天野千尋 Chihiro Amano

■製作国:日本 ■製作年:2014年 ■上映時間:84分 ■言語:日本語

「多様な性にYes! IDAHOメッセージ展」を同時開催します

日時:2017.7.8(土)12:30~17:30

会場:バル&カフェ チェアーズガーデン(映画祭会場内)

※入場には映画祭のチケットが必要です

共催:スクランブルエッグ



1990年5月17日にWHO(世界保健機関)の精神疾患のリストから同性愛が削除されたことにちなんで、毎年5月17日はIDAHO(International Day Against Homophobia, Transphobia and Biphobia: LGBT 嫌悪に反対する国際デー)とされ、LGBTへの嫌悪や差別に反対する日として世界中でイベントが開催されます。日本では「多様な性にYESの日」として記念日になっており、メッセージを募集し街頭で読み上げるアクションや、講演会、展示会など、各地で様々な催しが行われています。

青森県では、地元 LGBT が中心となって活動しているスクランブルエッグが、多様な性をテーマとしたメッセージを展示紹介する取り組みを2009年から継続しており、2011年からは当映画祭とのコラボレーション企画として「IDAHOメッセージ展」を開催してきました。

今年も映画祭会場内にて、このメッセージ展を同時開催いたします。また、当日はスクランブルエッグのオリジナル応援グッズの展示販売も行います。映画祭へご来場の際に、是非展示コーナーにもお立ち寄りください。映画とメッセージを通して、多様な性をより身近に感じていただける一日になれば幸いです。

※このイベントは、やっぱ愛ダホ! idaho-net.の取り組みに賛同しています。

※イベント名は、以前からの表記である IDAHO としています。

最新情報は公式サイトで要チェック! <http://aomori-lgbtff.org>

The Twelfth Aomori International LGBT Film Festival

プログラム内容

- ①『ハイヒール革命!』 13:00~14:15
- ②日本短編作品集 14:30~15:20
『あかぎれ』(19分)
『私は渦の底から』(27分)
- ③『どうしても触れたくない』 15:35~17:00

上映作品監督、出演者の方々よりメッセージをいただきました。



『ハイヒール革命!』監督 古波津 陽さんより

青森国際ナショナルLGBTフィルムフェスティバルにて「ハイヒール革命!」を上映していただき、感謝申し上げます。

真境名ナツキさんがいかにして制服のスポンを脱ぎ、スカートを書くに至ったのか。その中学時代をドラマとインタビューを混ぜながら立体的に描こうと思いました。最初の取材で、「お母さんの支え」という面白いキーワードが見つかり、それがナツキさんの魅力を解き明かす手がかりとなりました。「個性的であれ」と言っておきながら、人と違ったことをすると受け入れない矛盾した社会の空気。生きにくさを感じる人はたくさんいます。そんな中で個性を認めてくれる人の存在や支えの大きさは、励まされた人の人生を左右するほど偉大なものだと思います。真境名ナツキさんを通して、様々なことを感じていただけたらと思います。

『ハイヒール革命!』出演 真境名ナツキさんより

青森国際ナショナルLGBTフィルムフェスティバルにお越しのみなさん!はじめまして、真境名ナツキです。

「ハイヒール革命!」は私の人生を描いた映画です。私はトランスジェンダーというカテゴリーの人間ですが、まわりが思うほど、壮絶な苦勞や自殺したくなるほどの辛い経験などで思い悩んだ事は実はありません。それは、困った時や辛い時にいつも私のそばには最大最強の味方である「母」がいたからです。誰か一人でも理解してくれる人がいれば、人生は180°変わります。母とのエピソードは、ここでたくさん書きたいのですが、ネタバレになってしまうので…詳しくは映画をご覧ください(笑)

この映画は、私のインタビューや私生活を撮ったドキュメンタリー部分と、中高生時代の「革命」を描いたドラマ部分を散りばめたハイブリッドな映画です。ドラマ部分ではあゝ! 濱田龍臣くんが私の中高生時代を演じてくれています。キュートな濱田くんにもご注目ください。

この「ハイヒール革命!」を通してトランスジェンダーへの理解が深まると同時に、もう一度「普通」ってなんだろうと考えるきっかけに、悩んでいる人の後押しが出来るそんな映画になればと思います。

皆さんは自分自身の「革命」おこなってますか?



©アライテツヤ



『あかぎれ』監督 犬童一利さんより

『あかぎれ』監督の犬童一利と申します。この度は映画祭にお招き頂きまして誠にありがとうございます。

私は、LGBTをテーマに扱った作品を今迄に3本撮っています。2015年に『カミングアウト』と『SRS~ありきたりなふたり♀~』という2作品を上映頂きました。なので、今年の『あかぎれ』の上映で全作品を上映頂いたこととなります。本当に嬉しい限りです。

この作品は『カミングアウト』を撮った後に、企画者の奥田さんからお話を頂き、二人で脚本を作りました。『カミングアウト』に引き続き、アルファロメオさんに御協賛を頂いております。企画の奥田さんと一緒に受けたインタビュー記事がございますので、是非ご覧頂けますと幸いです。©自分スタイルで行く人、集まれ~東京レインボープライド2015レポート~<http://urx.red/CdfJ>

また、青森には去年公開した『つむぐもの』という映画で舞台挨拶を行わせて頂いたり、介護系のイベントでトークショーを行わせて頂いたり、ご縁を感じております。いつか青森でも映画を撮れる日を楽しみにしています。



『私は渦の底から』監督 野本梢さんより

この度は『私は渦の底から』を上映作品としてお選びくださり誠にありがとうございます。

この作品はセクシャルマイノリティの方を応援したいという思いで作りました。ただ、映画では「想いを伝えられなくて切ない」といった内容のものが多くありますが、実際は性別の壁を越えて自身の恋愛を楽しんでいる方も多くいることを知ったため、主人公の視点を通じてそういったギャップを描いてみようと思いました。自分だったらどうするだろう…?と向き合いながら描いた作品なので、さまざまな方に楽しんでいただける普遍性を持った恋愛映画になっております。東北生まれとしては今回の東北地方初上映、大変嬉しく思います。30分弱のお時間を頂戴できましたら幸いです。



『どうしても触れたくない』監督 天野千尋さんより

この度は、映画『どうしても触れたくない』を上映頂きありがとうございます。

この作品は、ヨネダコウさんの人気ボーイズラブ漫画を映画化したものです。主人公が会社の上司に恋をする、というごく日常的なストーリーですが、人間の心の機微が描かれたとても完成度の高い作品だというのが、原作を読んだ印象です。その良さを映画的に表現できるよう、工夫して演出に取り組みました。

原作ファンの方も、未読の方も、ボーイズラブが好きの方も、そうでない方も、1つの恋愛映画として、この作品を楽しんで頂けたら嬉しいです。